

2016.3  
Vol.108  
TAKE FREE  
で自由に  
お持ちください

# SHONAN MAIL

しょうなん  
メール

**理念**  
「生命を安心して預けられる病院」  
「健康と生活を守る病院」

## Contents

**2 - 3P** バースクリニック

2016年5月  
湘南鎌倉バースクリニック  
OPEN

**4 - 6P** 部署紹介

治験センターについて  
～新しく編成されました～  
現在募集中の治験について

**7P** トピックス

鎌倉市消防本部・消防団主催  
「鎌倉市消防出初式」参加

**8P** 病院案内



たんぽぽ

今までにない  
新しいお産環境を提供します

2016年5月 OPEN

# 湘南鎌倉パーサクリニック

SHONANKAMAKURA BIRTH CLINIC



湘南鎌倉パーサクリニック院長

日下 剛

Kusaka TAKESHI

こんにちは、パーサクリニック院長に就任予定の日下 剛です。

私たちは、お産を家族生活における最も重要度の高いイベントと考えております。

パーサクリニックは、このお産というイベントを家族にとって、よりかけがえのないものにしていただくための施設として開設いたします。

最新の考えに基づき、皆さんのお産がより円滑に経過するように、それぞれの家族に適した環境を産前から共に考えて準備をする場所にいたします。

そのためにパーサクリニックでお産を予定する妊婦さんとその家族の皆さんには、特別な学習プログラムを用意いたしました。お産についてより深く学習していただくことにより、お産に対しての適切な心構えを身に付け、不安を減らし前向きな気持ちでお産に臨むことができるように準備をします。そして思い残すことなく、来るべきかけがえのないイベントを迎えましょう。

今までは経験できなかったお産の充実感、達成感をパーサクリニックで是非体験してください。



6階お産センター 看護師長  
松本 智恵

バースクリニックで行う診療の一部をご紹介します。

バースクリニックは、女性が一生の中で経験するお産という大切なひとときを過ごすための場所として設立します。クリニックでのお産は、人間が本来持っているお産の流れに沿った「フリースタイル分娩」で、自然なお産を目指しています。妊婦さんが立ち会ってほしい方は誰でも立ち会うことができ、自宅にいるようなリラックスした空間で家族に囲まれてのお産もできるようにしています。そのため妊婦健診を通じて妊婦さんや家族が考える、バースプラン（お産内容）を一緒に計画していきます。

しかし正常なお産経過であっても、急に逸脱することもあり、そのようなときには、湘南鎌倉総合病院（本院）と連携して、妊婦さんや赤ちゃんの安全を確保します。このように、妊婦さんの状態に合わせて、安心して快適に過ごすことができ、自信を持って自宅に帰れるようにお産のエキスパートである助産師が主体となり、サポートします。

入院のお部屋は全室個室です。生まれた赤ちゃんと一緒に家族で産後を過ごしていただけるように、宿泊ができる用意もしております。

お産以外にも、産後のサポートが得られない方や、育児の不安を解消して帰宅したい方のために産後入院ができるようにし、助産師と一緒に育児のサポートをいたします。また、本院での

出産後にクリニックでゆっくり過ごしてから帰宅することも可能です。

さらに色々なイベントや教室も準備しています。安産を目指して体のストレッチを行う「マタニティヨガ」や、体によい食事メニューを考える「お料理教室」、両親で参加する「お産の勉強会」の他にも、産前産後の「アロマ」や、「赤ちゃん同窓会」や「コンサート」など盛りだくさんです。

バースクリニックは気軽に立ち寄ることができ、お友達作りをしたり、育児の情報を得たり、不安を解消できる場を提供していきます。是非、お子さん連れで立ち寄っていただきたいと思っています。お待ちしております。



1ヶ月健診：出産から1ヶ月後に赤ちゃんとお母さんの健診を行っています



カンガルーケア：出産直後の赤ちゃんをお母さんの胸の上に乗せてスキンシップをとります

※当院ホームページで動画を視聴することができます



マタニティヨガの様子



赤ちゃん同窓会：お産をされた方を始めとして、地域で子育てしている方々が交流を図れる場として開催をしています。

# 治験センターについて

～新しく編成されました～



治験センター長  
**安藤 清宏**

## 医師の紹介

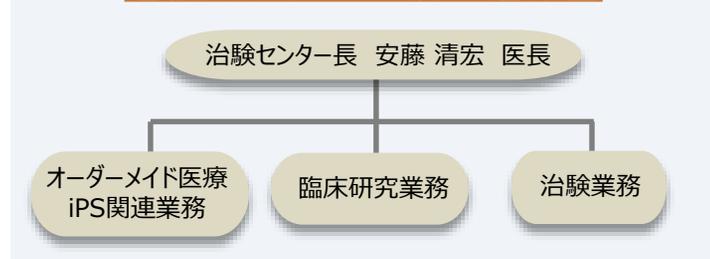
本年1月1日より治験センター長に就任いたしました、安藤清宏です。私は平成10年に日本大学医学部を卒業して8年間臨床医としての研鑽を積み、さらに国内外の研究室で7年間がんの基礎研究に従事しました。その後、当院に入職する機会をいただき、はや3年が経とうとしています。

治験センターでは、臨床と研究の両方に身を置いた経験を十分に活用し、①国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）委託事業（以下同記載略）「オーダーメイド医療の実現プロジェクト」および「疾患特異的iPS細胞を活用した難病研究」への協力、②治験、③その他の臨床研究の3つに関わる業務を行っています。今後皆さんへ当院から治験参加のご相談に何う可能性のある、これらの「臨床研究」についてご紹介して、私の挨拶にかえさせていただきます。

## 経歴

- 1998年 日本大学医学部医学科卒業
- 1998-2000年 日本大学医学部附属板橋病院第一外科入局研修医
- 2000-2004年 日本大学医学部生体機能系生理学分野大学院
- 2004-2006年 日本大学医学部第一外科関連病院外科医員（春日部市立病院）
- 2006-2009年 がん振興財団リサーチレジデント（千葉県がんセンター）
- 2009-2010年 Dana-Farber Cancer Institute 博士研究員(Dr. Kaelin Lab.)
- 2010-2013年 Mount Sinai School of Medicine 博士研究員(Dr. Sidi Lab.)
- 2013年- 湘南鎌倉総合病院臨床腫瘍遺伝子研究部医長
- 2013年- 千葉県がんセンター研究所客員研究員
- 2014年- 日本大学医学部兼任講師（生体機能医学系生化学分野）

## 治験センター 新・組織図



## 研究動向と 新しく編成された治験センター

より良い予防、診断または治療のために医学的なデータを得る研究をすべてまとめて「臨床研究」と呼びますが、正確には「治験」もこの中に含まれます。日本の医療分野の研究動向において特筆すべきは、昨年より医療分野の研究開発の予算を集約し、窓口の一本化による円滑な成果実現を推進するための日本医療研究開発機構(AMED)がスタートしたことです。このことは一方で、今後の医療分野の研究は、個々の組織または個人が単独で行う研究ではなく、「大きな研究課題を他施設共同で計画的に分担して取り組んで一つのゴールを目指す」という、まさに「オールジャパンの研究志向」であると感じられます。当院が積極的に協力している「オーダーメイド医療の実現プロジェクト」および「疾患特異的iPS細胞を活用した難病研究」は、まさに「オールジャパンの臨床研究」の先駆けともいえるでしょう。

また、当院におきましても、その積極的な研究組織基盤の確立が評価されて、昨年5月に当院の附属臨床研究センターが文部科学省より研究機関として認定を受けました。これにとまない、当院主導の臨床研究も今後いっそう日本の未来の医療を見据えた大学や国公立の研究機関と肩を並べうる良質で社会の医療ニーズに応える研究が推進されることでしょう。

## 治験について

次に「治験」についてですが、例えば「がんの治療薬」を例にとりますと、近年がん領域においては分子生物学的なアプローチから生まれたさまざまな新薬が登場しています。特に抗体製剤や小分子キナーゼ阻害剤などに代表されるのが、いわゆる「分子標的薬」と呼ばれる広義の抗がん剤です。10年前の臨床現場にはまだ数種類しか登場していなかったのに対し、現在までに既に60種類以上が世界で承認、臨床応用され各種のがんの治療成績の向上に寄与しています。今では昔ながらの抗がん剤治療に加えて「分子標的薬」は不可欠な存在といえます。

これからも新薬および既存の薬においては、月単位で次々と新たな疾患に対しての効果が認められて適応の承認がなされ、がんのみならず多くの難治性疾患に対する治療の可能性が顕在となっていくことが期待できます。このような新しい薬もしくは医療機器が、厚生労働省の承認を受けて実際に治療応用されるために不可欠なものを「治験」と呼びます。治験とは、端的には実際の患者さんに投与することで治療効果の有無を判定し、新薬を世に送り出すための臨床試験です。

現在の時点で治療法がない、または治療が不十分な難治性疾患に苦しむ患者さんが、いかに日々痛切な思いで治療薬の登場を期待されているか、まさに「一縷の望みを託している」か、このことは医師ばかりでなくすべての人の心の琴線に触れることかと思えます。力不足ではございますが、「日進月歩の新しい医療を待ち望む患者さんの思いに応えたい」という気持ちを自分の初心として職務に望む所存です。

最後に、治験を含む臨床研究の参加について不安を感じる方がほとんどだと思います。当院では、外部の専門家グループの倫理審査を通過した患者さん一人ひとりにより良い医療を提供することを目的として、すべての臨床研究の計画がなされています。もちろん大前提として「人を対象とする医学系研究に関わる倫理指針」を遵守し、参加者に明らかなデメリットが予測される研究は行いません。

当院の医師および治験センターの専門員が治験を含む臨床研究の参加に関するご相談に伺った際は、なにとぞ前向きにご検討いただけましたら幸いです。

## 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 委託事業 「オーダーメイド医療」「iPS細胞」について



「オーダーメイド医療の実現プログラム」の目的は、病気の詳しい原因を解明することを通して新しい薬や治療法を開発し、遺伝子の特徴が合うか合わないかを調べて副作用を回避するような「薬の使い分け」や「治療の最適化」といった、「オーダーメイド医療」を実現することです。個人に最適な医療を実践し、病気を適切に診断して治療することは、病気の重症化の回避にもつながり、医療レベルが向上することが期待されます。2013年にはじまった第3期（2003年に第1期スタート）では、38疾患を対象に患者さんからDNAや生活習慣の情報、カルテ情報などをご提供いただき研究を進めています。当院は、協力医療機関として患者さんからご協力を頂いています。本プログラムでは、提供者の重要な個人情報、臨床情報および遺伝情報を扱うため、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（平成13年3月29日[平成16年12月28日全部改正]文部科学省、厚生労働省、経済産業省）に基づき、これらの情報の保護を厳格な管理の下で行なっています。

「ヒト疾患特異的iPS細胞樹立に関する研究」（京都大学iPS細胞研究所）は、治療が困難とされている病気を患っている患者さんの血液からiPS細胞を作り病気になる仕組みを調べるなど、iPS細胞から病気を再現して新しい治療法の開発を目指すものです。当院ではこの研究の対象となる病気を治療されている方に、この研究への参加（血液と健康状態などの情報提供）をお願いしております。

iPS細胞は、2006年に誕生した新しい多能性幹細胞で、再生医療を実現するために重要な役割を果たすと期待されています。人間の皮膚などの体細胞に極少数の因子を導入し培養することによって、様々な組織や臓器の細胞に分化する能力とほぼ無限に増殖する能力をもつ多能性幹細胞に変化します。この細胞を「人工多能性幹細胞」と呼び、英語では「induced pluripotent stem cell」と表記しますので、頭文字をとって「iPS細胞」と呼ばれています。名付け親は、世界で初めてiPS細胞の作製に成功した京都大学の山中伸弥教授です。

## CRCについて

治験コーディネーター（CRC：Clinical Research Coordinator）は、厳格な法律・倫理のもとで治験を支援し実施していくチームの一員です。当院には2016年2月の時点で10名の治験コーディネーターが在籍しています。看護師・薬剤師・臨床検査技師などが業務にあたり、製薬会社・医療機器企業からの治験や医師が中心となって行う臨床研究の支援を行っています。

ご協力いただいている患者さんの体調を伺ったり、来院スケジュールの管理をしたりと、医師と共に安全・安心して治験に参加していただけるよう、患者さんのサポートをしています。

患者さんからは、治験期間中は病気のことだけでなく、ご家族のこと、生活環境のことなどをご相談いただくこともあります。何となく医師には聞きづらいことや言いづらいこと、院内のどこに問い合わせをしたらいいのかわからないことなど、治験コーディネーターを通じてなら聞きやすいこともあるかと思えます。体調に関することはもちろん、気がかりなことがあれば気軽に相談できるような関係を築けるよう、治験コーディネーター一人ひとりが心がけています。



# 現在募集中の治験



神経内科部長 川田 純也

当院の治験センターは、2006年6月に設立されました。その年の当院での治験は、循環器科、糖尿病内分泌内科、神経内科の3科のみでした。現在では約60の治験を実施しており、実施診療科も多岐にわたっています。

また、現在実施している治験の一部は国際共同治験という海外のいくつかの国々と同時に行う治験であり、施行施設はすべてICH-GCPという国際基準ののって行わなければなりません。そのため、治験担当医師、CRCのみならず、各種検査を行う、臨床心理士やリハビリテーション科の方も試験に合格できた者だけが参加できるという厳しい条件がつけられています。治験は患者さんとそのご家族はもちろんですが、単に医師とCRCだけでなく、臨床心理士やリハビリテーション科、検査部、放射線科などの多数の方々の絶大なる協力で成り立っています。

神経内科では、アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症をはじめ、パーキンソン病やてんかんなどの治験を実施しております。その時々で募集をしている治験や参加への条件は異なりますが、興味のある方はぜひ担当医にご相談ください。

## レビー小体型認知症 の治験について

レビー小体型認知症の患者さまを対象とした  
治験に参加いただける方を募集しています。

<参加いただける方>

◆物忘れ以外に  
以下の症状でお困りの方

- 手足がふるえる
- 筋肉がこわばる
- 動きが遅くなる など

◆20歳以上90歳未満の方  
◆4週間ごとに来院できる方

※この他にも参加いただくための基準があります。  
※基準に合わない場合、参加いただけない場合がございます。  
※参加いただく患者さまのプライバシーは厳守いたします。

治験とは、新しく開発されたくすりを  
患者さまにご使用いただき、有効性（くすりの効果）や  
安全性（副作用）を確認する試験のことです。

<お問い合わせ先>

医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 治験センター  
Tel : 0467-47-3506 (平日 8:30~17:00)  
実施診療科: 神経内科 治験責任医師: 川田 純也

## Q & A



### ●治験の参加条件は？

年齢や性別、対象となる病気の程度や経過、他の病気の状況、決められた時期に通院が可能であるなど、決められた基準に合う方のみ参加できます。

### ●治験に参加するとお金はかかりますか？

治験薬（くすりの候補）を使用している期間中は、治験薬や検査代は製薬会社が支払います。しかし、初診料・再診料や治験の対象となる病気以外の薬代は通常どおり、患者さんの負担となります。

### ●治験参加にあたって、

プライバシーは守られますか？

プライバシーや権利（人権）は、治験のルールによって厳重に守られています。いかなる場合も、個人が特定されることはなく、プライバシーは守られますのでご安心ください。

募集中の治験は、  
1階エスカレーター横の  
掲示板の一部を  
掲示しております

2016年1月6日

鎌倉市消防本部・消防団主催

でぞめ  
「鎌倉市消防出初式」参加



平成28年1月6日（水）鎌倉市消防本部・消防団の主催により「鎌倉市消防出初式」が山崎浄化センター（鎌倉市山崎354-2）で行われ、そのプログラムのひとつ「消防部隊による総合訓練」で湘南ERDMAT-L隊の5名が参加いたしました。

▲ 出初式の様子



▲ 高橋医師・福永看護師・平新看護師・浅野業務調整員・梅澤医長（左から）

訓練の想定は「暴走車が10数名の歩行者をはね、他の車と衝突し炎上する」という大事故。多くの参加者が固唾をのんで見守るなか、消防からの要請で出動したDMAT-L隊の5名（救命救急センター 梅澤 耕学 医長、高橋 雄治 医師、平新 加代子看護師、福永 麻衣子 看護師、浅野 友和 業務調整員）は現場に到着するやいなや、迅速に消防団と連携を取り、トリアージ（重症度の判定）を行い、

被害者を搬送しました。本番さながらの緊迫した訓練を目の当たりにし、参加者からは「実際に事故が起こった時に、どうしていいかわからなくて取りみだしてしまうけれど、この訓練を見てイメージが湧くと同時に、とても頼もしく思いました」（60歳台・女性）との声が聞かれました。

隊長の梅澤医師は「救急隊や救助隊などと共にシミュレーションを行い、その活動や鎌倉市・鎌倉消防との協力体制を市民の皆様にご理解いただけたと思います。今後も実災害だけでなく、市や消防との協力体制を強く結び、地域に貢献していきます」とその強い想いを語りました。プログラムの中には、鎌倉・大船の両とび職組合による「はしご乗り」も披露され、とても華麗でありながらも力強く、昔から伝わる町火消しの心意気を感じることができました。



▲ はしご乗りの様子



訓練の様子▶



医療法人 湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1  
 代表：Tel 0467-46-1717(代表) Fax：0467-45-0190  
 しょうなんメール編集・発行：湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会  
 ホームページアドレス：http://www.shonankamakura.or.jp



ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表か、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

# Access Map

湘南鎌倉総合病院



## 駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

	外来患者	一般・面会
料金体系	最初2時間 200円 以降1時間 100円	1時間 200円
※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります		
営業時間	地上 0:00~24:00	地下 7:00~21:00
台数	28台	179台

コーナン鎌倉モール  
1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料

## 公共交通機関でお越しの方へ

### 大船駅より来院される方

- 大船駅西口（大船観音側）
 

1番乗場	神・船31 渡内経由	「慈眼寺」行
公会堂前下車	船32 渡内経由	「藤沢駅北口」行
2番乗場	神・船101 城廻中村経由	「大船駅西口」行
	船102 公会堂前経由	「城廻中村」行
- 大船駅東口交通広場ターミナル（湘南モノレール駅下バスターミナル）
 

2番乗場	神・船34 公園前経由	「南岡本」行
南岡本下車		

### 藤沢駅より来院される方

- 藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）
 

4番乗場	神・船32 渡内経由	「大船駅西口」行
公会堂前下車		
9番乗場	江・藤沢[弥]大船 武田薬品前経由	「大船駅」行
南岡本下車		
- 藤沢駅南口（小田急デパート側）
 

8番乗場	江・5301 アズビル前・武田薬品前経由	「湘南鎌倉総合病院」行
湘南鎌倉総合病院下車		

## 関連施設

- 葉山ハートセンター  
神奈川県三浦郡葉山町 下山口1898-1  
TEL 046-875-1717
- 湘南厚木病院  
神奈川県厚木市温水118-1  
TEL 046-223-3636
- 湘南鎌倉人工関節センター  
神奈川県鎌倉市台5-4-17  
TEL 0467-47-2377
- 湘南葉山デイクアクリニック  
神奈川県三浦郡葉山町 一色1746-2  
TEL 046-876-3811
- 湘南かまくらクリニック  
神奈川県鎌倉市山崎1202-1  
TEL 0467-43-1717
- 大和青洲病院  
神奈川県大和市 中央林間4-25-17  
TEL 046-272-9300
- 介護老人保健施設 ゆめが丘  
神奈川県横浜市泉区 和泉町1202  
TEL 045-800-1717
- 介護老人保健施設 かまくら  
神奈川県鎌倉市上町屋750  
TEL 0467-42-1717
- 介護老人保健施設 リハビリケア湘南かまくら  
神奈川県鎌倉市山崎1202-1  
TEL 0467-41-1616
- 介護老人保健施設 リハビリケア湘南厚木  
神奈川県厚木市戸田2446-15  
TEL 046-230-5111
- 特別養護老人ホーム かまくら愛の郷  
神奈川県鎌倉市岡本1022-32  
TEL 0467-41-1122
- 特別養護老人ホーム 逗子杜の郷  
神奈川県逗子市沼間1-23-1  
TEL 046-870-6800